

生薬学 1 本試験

2006年2月2日実施

1. 次の問いに答えなさい。

(1) 生薬の医薬品としての基本的な特性を説明しなさい。(15点)

(2) 上記の特性を踏まえて、生薬の品質評価について説明しなさい。(10点)

2. 以下の文章は、婦人科疾患に対する漢方薬を用いた治療法について簡単にまとめたものである。次の問いに答えなさい。

月経困難や更年期障害などの女性特有の疾患には、漢方医学的には、気・血・水のうちの (A) の機能失調であることが多い。(A)の機能失調は、その流れが悪くなっている (B) と、それ自体が不足している (C) のいう病態と、大きく二つに分けられる。

(B)を治療するためには、(*Cnidium officinale*を基原とする生薬①)や牡丹皮、桃仁などの (D) 薬が配合された漢方処方を使用し、その代表的な処方として (E) がある。

(C)を治療するためには、(*Angelica acutiloba*を基原とする生薬②)や(*Paeonia lactiflora*を基原とする生薬③)などの (F) 薬が配合された漢方処方を使用し、その代表的な処方として (G) がある。

また、(C)の原因に、ストレスや精神不安など、漢方医学における五臓、すなわち肝、心、脾、肺、腎のうちの (H) と (I) の異常が背景にある場合には、(*Bupleum falcatum*を基原とする生薬④)を含む漢方処方である (J) や女神散などが適応する。

(1) (A) ~ (J) 内に適切な言葉を入れなさい。(3点×10 = 30点)

(2) 文中に登場する生薬①～④について、その基原植物が属する科、基原植物名、生薬として使用するときの薬用部位、生薬名を書きなさい。(2点×4×4=32点)

(3) 下線部「桃仁」と同じバラ科、*Prunus* 属の植物を基原とする代表的な他の生薬をあげ、両者について、その含有成分や薬効の違いについて説明しなさい。(生薬名2点、説明4点)

(4) 生薬③、④が配合されている漢方処方のうち、(E)(G)(J)以外のものをそれぞれ1つずつ挙げ、その適応疾患や副作用など、知りうることを述べなさい。(4点×2=8点)

3. 以下の各症状を訴える患者に対して、適当と考えられる漢方処方を考え、その理由を説明しなさい。なお、いずれの患者さんも、薬局に相談に来る程度の軽医療分野で適応できるものとする。(処方2点、理由3点×2=10点)

(1) 59歳男性。手足が妙にほてる。それは疲れたときに午後から夜にかけて起こる。足腰が重だるい。根気や忍耐力も減退し、健忘、耳鳴り、めまいなどもある。夜間頻尿で、皮膚につやがない。



(2) 35歳女性。起床後30分くらいはクシャミ・鼻水がひっきりなしで、家事に手が着かない。日中は不定期にクシャミや鼻水を繰り返し、とくに冷たい風に当たるとひどくなる。時々背中に寒気も感じる。



4. 「修治」とは何か、またそれを行う生薬を2種類あげ、それによりどうなるのか、具体的に説明しなさい。(説明5点、生薬・説明5点×2 = 15点)

5. 以下の記述についての正誤を○Xで指摘し、誤っている場合はその理由を説明しなさい(単に否定するだけは不可)。(3点×8 = 24点)

- (1) カゼをひいて葛根湯を使用する際、より早く治すためには、市販の解熱成分が配合されているカゼ薬と一緒に飲むとよい。
- (2) 漢方エキス製剤は、同名でも、発売されているメーカーによって処方内容が異なることがある。
- (3) 日本薬局方の「乾姜」は、ショウガの根茎を乾燥させたものである。
- (4) チンピは、グレープフルーツジュースの薬物代謝酵素阻害活性成分と同じ成分を含むため、カルシウム拮抗薬と薬物相互作用を起こす。
- (5) 中国で一般的に市販されている川芎を、日本で局方品として販売してはならない。
- (6) サンヤクにはステロイド系化合物が含まれており、免疫抑制作用が期待できる。
- (7) 「ハブ茶」の原料としてケツメイシが使用されている。
- (8) ホミカを含む胃腸薬を、国体に出場するスポーツ選手に勧めてもよい。